

KOGA IDOL

今月の古河っ子

いいこが
育つ古河



浦田茉奈 ちゃん
(平成30年10月生まれ・諸川)
いつも笑顔の茉奈ちゃん♡
明るく元気に育ってね。
(父：正孝、母：玲奈)

**齊藤美波(左)ちゃん
葵(右)ちゃん**
(平成27年9月生まれ
平成29年6月生まれ・新和田)
お洒落好き美波とおいしい
坊な葵。パパとママの宝物♡
(父：昂、母：恵)

関口叶真 くん
(平成29年8月生まれ・尾崎)
ニコニコ元気いっぱい！
これからの成長が楽しみ☆
(父：翔太、母：澤)

嶋田莉斗 くん
(平成30年1月生まれ・水海)
ブランコに乗ってご機嫌だ
ね。優しく元気に育ってね
(父：大、母：弘子)

お子さんの写真を募集中！ <対象> 0～3歳の市内在住のお子さん <応募方法> メール・電話で受付中。メールのタイトルを「今月の古河っ子応募」とし、本文に「お子さんの氏名(ふりがな)・生年月日・父母の氏名・住所・電話番号」を明記し、city.pr@city.ibaraki-koga.lg.jp(☎シティブロモーション課)へ申し込みください♪



わたしの夢

希望をあたえられる サッカー選手に

増田大空さん 八俣小学校6年生

ぼくのおじさんはサッカーをやっています。試合でたくさん勝っている姿を見て、ぼくもサッカー選手になりたいと思いました。

ぼくは、ふだんの練習でもただやるのではなく、自分で練習メニューを考えて、より良くなるように工夫をしながら練習するようにしています。

世界にはサッカーをやりたくてもやれない人がいます。それでも、ぼくはすばらしい環境でサッカーができています。だから、サッカーができない人に希望をあたえてあげられるような選手になりたいです。



キラリ☆輝く人たち

古河市の代表として炬火をつなぐ

小森谷蓮夏 さん(女沼・15歳)

9月28日、笠松運動公園陸上競技場(ひたちなか市)で、いきいき茨城ゆめ国体2019の総合開会式が開催されます。そこで、古河市代表の炬火ランナーとして、オープニングセレモニーに参加する小森谷さん。

炬火ランナーと綱引競技での国体出場への意気込みを伺いました。



スポーツとは無縁の私

古河中等教育学校の4年生(高校1年生)として学校生活を送る小森谷さん。茨城国体が開催されると知ったのは、小学4年生の時。当時は、国体が何のことかさえ分からず特に関心はなかったそうです。

スポーツとは無縁の生活を送っていた小森谷さんですが、約1年前、古河中等教育学校が、市内で開催される国体の綱引競技(少年女子の部)出場を目指すことになり、「せっかくなら一緒にやってみようよ」と友達に誘われたことがきっかけで、綱引を始めた。それが、小森谷さんと国体での炬火ランナーを結びつけることになる。その時は夢にも思いませんでした。

友達と始めた綱引

それまでは、運動会でした。やったことなかった綱引。ただ単に綱を引けばいいのかと思っていましたが、実際にやってみるととても難しい競技であることが分かりました。また、綱を引く姿勢やチー

ムメイトとの連携など学ぶことがたくさんあり、練習を重ねるうちに、徐々にその楽しさに引き込まれていったと言います。

基本的な技術は、古河市綱引連盟の中村会長をはじめとする、連盟スタッフに毎週3日教わり習得してきました。その他、恩名下坪TCや自衛隊など大人の綱引チームと一緒に練習し経験を積んでいきました。

その結果、今年の2月に行われた古河市綱引大会(女子選手権の部)では、大人を相手に堂々と渡り合い、見事に準優勝を果たしました。そのことで自信が付き、今



▲古河中等教育学校綱引チームのメンバー

では、茨城国体に出場しての1勝が全員の目標になったと話します。

炬火ランナーとして堂々と

炬火ランナーは、県内の市町村から各1人選考されます。古河市が国体の綱引会場である中、古河中等教育学校チームが綱引大会で準優勝した実績が評価され、炬火ランナーを担うことになり、仲間からの信頼も厚く、いつも明るいムードメーカー的存在の小森谷さんがチームから選ばれました。

炬火ランナーとして茨城国体の開会式で走ることが決まった5月の頃は、チームを代表して大役を引き受けることに不安でしたが、今では、自分達の頑張りが評価されたとても名誉なことと考え、本番で堂々と走るための準備に余念がありません。

開会式当日は、天皇・皇后両陛下が観覧する前での晴れ舞台です。チームメイトの思いを胸に市の代表として、格好良く走り切りたいと話す表情は、明るく晴れやかでした。